

A.P.【エーピー】

Arakawa Peilの略語。隅田川河口の水位を測るため、明治6年に現在の中央区新川2丁目地先の河岸に設置された霊岸島量水標零位を基準面とするものである。「Peil」とは、オランダ語で基準や標準の意。この基準面は、ほぼ東京湾の大潮干潮位にあたり、荒川及びその周辺の沿海や河川の工事基準面として使用されている。なお、東京湾周辺では、同様の基準面として、T.P.（東京湾平均海面）、Y.P.（江戸川工事基準面）などがあり、Y.P.（明治5年）、A.P.（明治6年）、T.P.（明治6年～明治12年）の順で基準設定された。

各基準面の関係

		語句	説明	東京都の場合
東京湾平均海面(T. P.) (東京湾中等潮位) 江戸川工事基準面(Y. P.) 荒川工事基準面(A. P.) ※この潮位はA.P.を基準とする。		A.P.	霊岸島量水標零位を基準面とするもの	—
		T.P.	東京湾平均海面(東京湾中等潮位)を零位として、日本全国の土地の標高を決めている基準面	A.P.+1.134
		標高	ある点からの基準面(日本では東京湾の平均海面を通過する水準面)までの鉛直距離のこと	T.P.に同じ
		海拔	「海拔」は「標高」同様、平均海面を基準として計測される。海拔は、近くの港湾などの平均海面を基準として設定する場合が多いため、地域ごとに異なる。	T.P.に同じ